

5/23 生産・収穫の喜びを 緑小学校・船越小学校児童が合同田植え体験学習

初夏の心地よい風が吹きぬける中、緑小学校に隣接する水田で田植え体験学習が行われました。

例年地域住民の方々に教わりながら実施されてきた田植え体験ですが、今年は緑小学校と船越小学校の交流授業として孝野覚也かくやさんの指導の下、南宇和高校農業科の3年生にアドバイスを受けながら行われました。

水田に初めて足を踏み入れた緑小1・2年生や船越小の児童たちは、泥に足を取られながらも一歩ずつ慎重に踏み進め、手作業でヒノヒカリの苗を植えました。児童たちは泥の感触に歓声を上げながら、普段できない自然体験を満喫し、田植えを通して食や農業への関心を高めました。

初めての田植え体験を終えた緑小2年の児童は、「苗を3本に分けるのが硬くて難しかったけど、最後は倒さず上手に植えられました。お米ができたなら卵かけご飯で食べたい」と収穫の楽しみを笑顔で話しました。



▲苗の合図で一斉に苗を植える児童たち

地域おこし協力隊 活動日記

「愛南町のPRと特産品販売に行ってきました」



こんにちは。商工観光課地域おこし協力隊の関根麻里です。

5月13日～24日にかけて農業支援センター職員と河内晩柑販売に宮城県へ、商工会の方

ちと特産品販売に東京都庁へ行ってきました。

初めての出張で訪れたことのある宮城県と実家のある東京都など思い入れのある場所で嬉しかったです。

地域おこし協力隊就任当初から愛南町の魅力をSNS（インスタグラム）で発信しています。その投稿を見て仙台のスーパーや東京都庁に足を運んでくれた方たちがいたことで日々の発信の効果と重要さを実感しました。

1週間特産品販売を行った都庁では、商品を購入してもらったお客さまの感想や反応を聞くことができ、学びや気づきがありました。



▲東京都庁での販売ブース

河内晩柑を初めて食べた方が味を気に入って再度買いに来てくれたり、来年も来てくださーいと言われてもらえたり、東京の知り合いにも来てもらい愛南町と特産品の魅力をPRすることができたと思います。一方で商品の良さを伝えきれてなかったなど感じることもあり、どんな風に説明したら魅力がもっと伝わるのかを勉強していきたいと思いました。

これからも愛南町の魅力をPRするために自分のできることを動きながら考え、発信を続けていきたいです。